

学校名 [仙台市立中田小学校]	氏名 [佐藤 周子]
[小] 学校 [28] 年版	単元名 [ちゅうい!家のまわり 学校のまわり] P. 30 ~ 31
教科・領域名 [生活科] [時間 45分(1コマ)]	

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

目指す児童生徒の姿(10月2日に地域合同防災訓練を実施。その日の4時間目に防災の授業を各クラスで実施した。) 地域合同防災訓練で学習したことを基にしながら、学校以外の場所(自宅や外出先等)で地震が起きた際、安全に避難する上で注意することを考え、安全に避難する方法を身に付ける。

1. 災害の被害について知る。

防災副読本(P.30)の東日本大震災の写真から、災害の被害の大きさを知る。

2. 本時の学習のめあてを知る。

じしんがおきたら、ちゅういすることをかんがえよう。

3. 絵を見て、注意することを考える。

- 各自、P.30の絵を見ながら注意することを見付ける。
- ペアで、考えたことを話し合う。
- 全体で注意することを確認する。
- ワークシートにまとめる。

4. 地震が起きたときの身の守り方を考える。

- P.31の絵を見ながら、場面ごと、身を守る方法を考え、全体の前で発表する。
- ワークシートに、身を守るときに必要なことをまとめる。

5. まとめをする。

- 学習のまとめ(板書)を全員で読む。
- 帰り道に、危険な場所を家族で探すことを伝える。その時の安全な避難の仕方も相談して決める。
- さらに、一時避難場所を親子で確認するとよいことを伝える。

副読本の写真を実物投影機で映し、「何が」「どうなった」と投げ掛けて、全員で確認をした。

【児童の声】(注意すること)

- ・「ブロックが、こわれた。」
- ・「じめんが、ぐちゃぐちゃになった。」

【児童の考え(話し合いから出た意見)】

- ・「たおれてくるものには近づかない。」
- ・「あたまを、しっかりとまもる。」等



【児童の声】(地震の際の避難する方法)

- ・「寝ていたら、戸棚が倒れるかもしれない。」
- ・「帰り道、ブロックが壊れてくるかも...。」

【児童の考え(発表)】

- ・「寝ていても、すぐに起きて、机の下にもぐる」
- ・「危ないものからは、はなれて、座る。」

<学習のまとめ:板書事項>

- ・家や通学路の安全な場所を探しておこう。
- ・危険な場所から離れる(避難する)。

※ 防災ダックを使って、いろいろな場面の避難の仕方を遊びながら学ぶ。

本時の授業で学んだことを授業後、どこに、どのようにつなげるか。

- ・ 親子で下校することで、登下校ルート上の危険箇所や避難の仕方を親子で相談する機会とする。
- ・ 自分の地区名や一時避難場所の建物等を親子で確認し合う等の“親子の対話”につなげる。